

—地域担当職員の活動は？—

今年から始まった地域担当職員の活動内容についてご紹介します



おもに世帯数の少ない散在集落の戸別訪問をさせていただきます。

よろしくお願いいたします

そこで当面

地域担当職員は・・・

町民は・・・

特に、世帯数の少ない散在集落にお住まいの方は、過疎高齢化に加え、町村合併により不安が増大しているようです。

職員は・・・

自分の出身地以外の地域のことはあまり知りません。特に、役場や支所・出張所から離れた散在集落のことを勉強しなければなりません。

地域担当職員は、道づくりの手伝いや水源地の清掃など、労働力の提供はしておりません。ご了承ください。

今年の四月に町内を十九の地域に分け、各地域に六、七名の地域担当職員を配置しました。四、五月に地域懇談会を実施、八、九月にかけては町内の散在集落を中心に戸別訪問を行いました。これらの活動を通じて、住民の皆様からたくさんのご意見を頂くことができました。引き続き地域担当職員は次のような活動を行いますので、よろしくお願いいたします。

次のページに担当職員の役割を分かり易くイメージ図にして掲載しています。



《町民の声》

8～9月に実施した地域訪問で約130件の貴重なお声を頂きました。そのお声の一部とそれらに対する町の回答をご紹介します。今後も町民全体に関係することについては、広報でお知らせしていきます。

町民の声：「役場からくる文書（区長行きなど）や広報の文字をみやすく大きくして欲しい」

役場回答→「地区回覧文書などについては、できるだけ読みやすい大きさの文字を用いるよう配慮します。広報については、現行の文字サイズは他市町村と比較しても大きなサイズを用いていますが、なお一層読み易い紙面づくりを心掛けていきます」

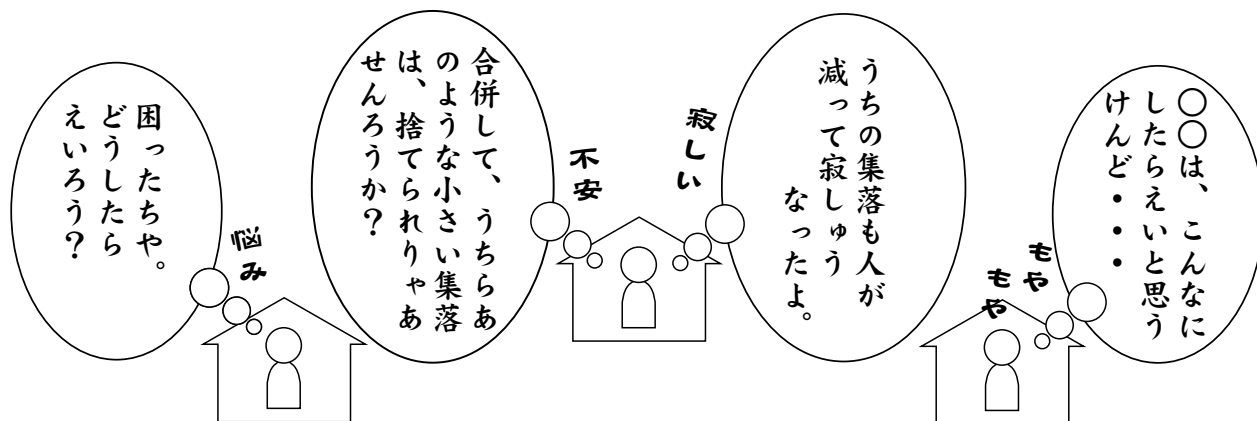
町民の声：「タクシーに頼りきりの移動手段なので、地域巡回バスの検討をして欲しい」

役場回答→「平成19年度からの運行を目指し、現在、町営コミュニティバスの導入を検討しています」

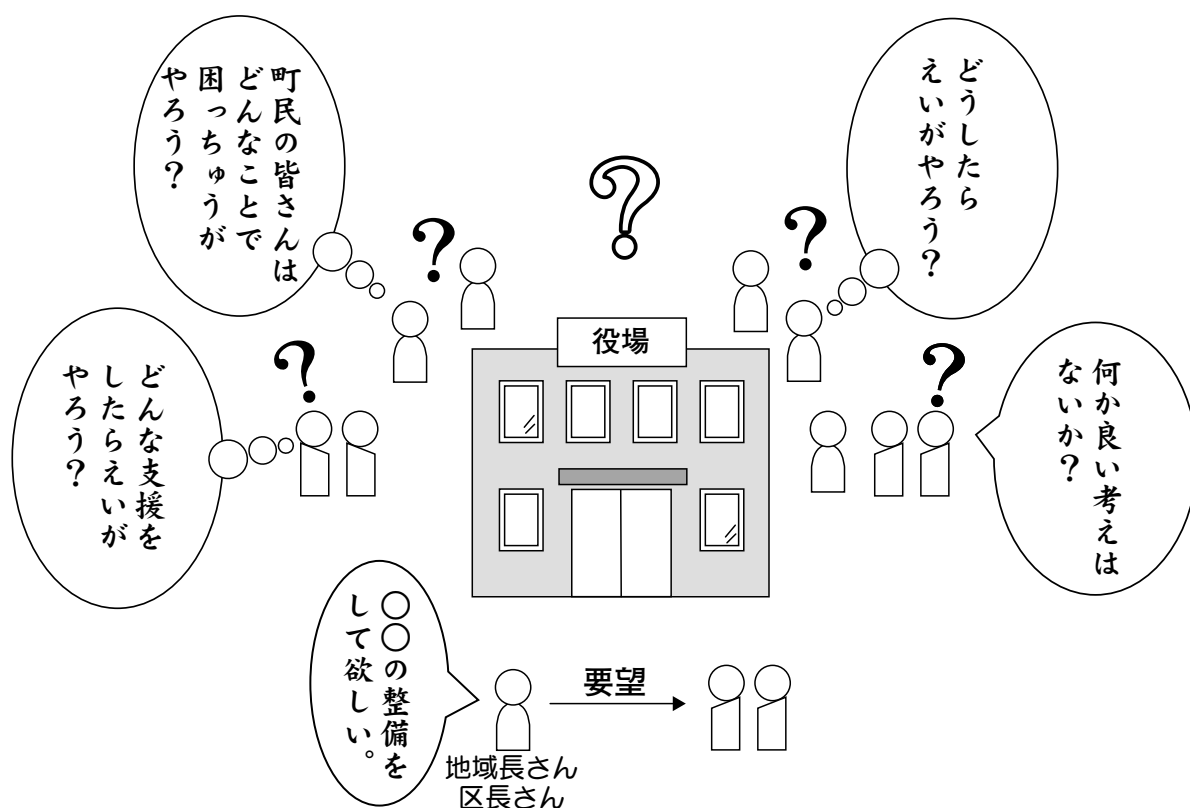
町民の声：「大崎診療所の患者輸送バスは、ずっと続けて欲しい」

役場回答→「平成19年度以降も同様のサービスが提供できるよう調整しています。ただし、若干の利用負担も併せて検討しています」

「思いは、なかなか声になりません」



これまで、町民の思いは行政に反映されづらく、町民と行政の思いにズレが生じやすい状況でした。



〔道路新設や舗装などの要望については、地区で意見を集約し、地域長さんや区長さんを通じて要望を出してもらっていますが・・・〕

地域担当職員によって・・・

「町民の思いが声になり まちづくりの起点となります」

